

# 杜のオーケストラ 仙台フィル50年の物語

Sendai Philharmonic  
Orchestra



須永 誠=著  
Makoto Sunaga

音楽之友社

新刊書籍

## 杜のオーケストラ 仙台フィル50年の物語

須永誠 著 / 定価：2,420円 (本体 2,200円+税 10%) / ISBN：978-4-276-20022-7

A5判 / 288ページ+口絵8ページ

人と調べに寄り添い半世紀、仙台フィルは愛され続ける！

——奥田佳道 (音楽評論家)

音楽之友社

# 創立 50 周年を迎える仙台フィルの物語!

1973年冬、杜の都・仙台の寺院に集まった音楽家4人が、オーケストラの設立を決意する。まもなくプロ化するも、理想の相違や、楽団員の確保、資金繰りの困難が待っていた。数々の痛みを経験しながらも同オケは、東北の音楽文化の中核を担い、東京公演や海外公演、国際音楽コンクールなど世界的な檜舞台を踏むようになる。

仙台フィルを形づくってきた芥川也寸志、靱山和明、円光寺雅彦、外山雄三、梅田俊明、パスカル・ヴェロ、飯守泰次郎、高関健、山田和樹ら指揮者との絆、地元のみならず全国の音楽家、音楽ファンから寄せられる信頼。そして、プロとしての矜持……。常に挑戦し続ける地方オケの雄の素顔。

## 【目次】

口絵

プロローグ

### ■第1章 初のプロオーケストラ

- 宮城フィル創立
- 手探りで活動開始
- 悲願の「定期」が実現
- 宮城フィルハーモニー協会設立
- 新たな活動と楽団員の拡充
- 福村芳一を招聘
- 東北交響楽連盟の誕生

〈Column〉仙台のオーケストラ運動

### ■第2章 試行錯誤の基盤整備

- 音楽総監督 芥川也寸志
- 常任指揮者 靱山和明の挑戦
- 音楽教室、事務局の改革
- 地元企業、自治体の支援拡大
- 音楽家ユニオンに加盟
- 芥川が急逝、遺志を継承

〈Column〉私と仙台フィル

### ■第3章 飛躍への布石

- 仙台フィルに改称
- 音楽監督 外山の改革
- 拠点施設が誕生、活動も活発化
- 財団法人化と新たな支援
- 多様化する活動
- 欧州公演と国際音楽コンクール
- 外山体制が幕を下ろす



立ち読みは  
こちら

### ■第4章 パスカル・ヴェロと東日本大震災

- パスカル・ヴェロの登場
- 変わる意識、プログラム
- 東日本大震災と向き合う
- 復興への一歩
- 被災越えて再スタート
- 体制整備と広がる活動
- 次の時代へのまなざし

〈Column〉私のベストコンサート

### ■第5章 未来を見据えて

- 飯守泰次郎、高関健を招く
- 経済界の支援と国の助成金
- コロナ禍に立ち向かう
- 聴衆の思いはどこに
- 新体制で迎えた50周年
- 将来像をどう描く

〈Special Column〉

仙台国際音楽コンクール 2022

おわりに

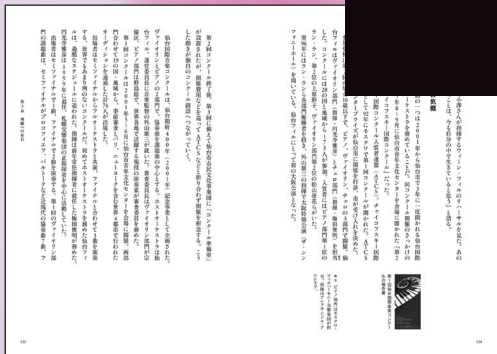
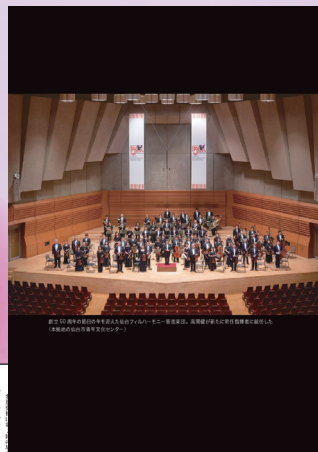
主な参考文献・資料

◎資料編

歴代役員

関係年表

定期演奏会記録



充実した写真と資料



須永 誠(スナガマコト)  
フリーライター。1956年群馬県高崎市生まれ。80年河北新報社(仙台市)に入社。2022年まで記者・論説委員、福島総局長、紙面審査部長などを務める。専門分野は音楽、文芸、原発・環境問題ほか。仙台フィルは1986年から現在まで断続的に取材。著書に『太宰治と仙台一人・街と創作の接点』(河北新報出版センター)、共著に『東北の芸術家たち―人生・仕事を語る』(同)など。

協力 ― 仙台フィルハーモニー管弦楽団



仙台フィルの創立 50 周年記念ロゴ



▲書籍紹介ページ